

# 死刑を考える日

映画「休暇」で見る死刑執行の実際



©2007「休暇」製作委員会

日時：2009年5月9日(土)

13時00分～16時45分(開場12時30分)

会場：大阪弁護士会館2階ホール  
(大阪市北区西天満1-12-5)



#### 【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

参加対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費用：無料

申込み：

裏面の用紙をFAXでお送りください。

主催：大阪弁護士会

我が国に対しては、死刑執行停止が国際社会から強く求められています。しかし国内では、死刑を容認する世論が8割を超えるとされており、死刑判決数・執行数も激増しているのが現状です。

他方で、裁判員制度導入後は、市民である裁判員が量刑判断を迫られることとなるため、近時、死刑についての関心が高まっています。国会議員の間でも、死刑と無期刑の間隙を埋めるものとして、終身刑導入を内容とする議員立法が準備されています。

そもそも死刑とはどのような刑罰か。できるだけ多くの方々とともに改めて考える機会をもつため、「死刑を考える日」を開催することといたしました。

今回上映する映画「休暇」は、死刑確定者の拘置所における日常生活、死刑執行までの流れ、刑務官の苦悩などが描かれた作品です。死刑について具体的に考えるには最も適した映画の一つといえます。

さらに、死刑制度に関する問題についてご説明し、映画では描かれていない死刑の実態についても情報を提供いたします。

ぜひ、奮ってご参加ください。

プログラム(予定)：

報告 「国際社会から問われる日本の死刑」

三上孝孜弁護士(日弁連死刑執行停止実現委員会委員)

特別講演「死刑の実際と問題 - 学者の立場から、元弁護人の立場から」

石塚伸一氏(龍谷大学法科大学院教授)

映画「休暇」の上映

< 本件に関するお問合せ >

大阪弁護士会 委員会担当室 Tel: 06-6364-1227

参加希望の方は、本申込書を FAX：06-6364-7477 へご送付ください(送付状不要)

## 参加申込書

▶「死刑を考える日」に参加します◀

参加人数 名

代表者氏名

ご所属

ご提供いただいた個人情報は、大阪弁護士会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、参加人数把握のためのみに使用いたします。また、個人情報は、本シンポジウム終了後、直ちに廃棄若しくは消去いたします。

< 作品紹介 >

**「死刑執行の際、支え役を務めれば一週間の休暇を与える」  
生と死の間でゆれ動くひとりの人間が、やがてたどり着く場所とは**

死刑囚を収容する拘置所に勤務する刑務官たち。彼らは常に死と隣り合わせの生活を余儀なくされる。決まりきった毎日を淡々とやり過ごす寡黙なベテラン刑務官、平井もそのひとり。そんな彼がシングルマザーの美香と結婚することになった。なかなか打ち解けない連れ子との関係を築く間もないまま挙式を目前に控えたある日、死刑囚・金田の執行命令が下る。執行の際、支え役(死刑執行補助)を務めれば1週間の休暇を与えられると知った平井は、新しい家族と新婚旅行に出かけるために、誰もが嫌悪する支え役に自ら名乗り出るのだった…。

(映画「休暇」公式ホームページ <http://www.eigakyuka.com/> より)

# 休暇



### Cast

小林 薫 ... 平井 透(刑務官・看守部長)  
西島秀俊 ... 金田真一(死刑囚)  
大塚寧々 ... 美香(平井の妻)  
大杉 漣 ... 三島達郎(刑務官・副看守長(幹部))  
柏原収史 ... 大塚敬太(新人刑務官・看守)

### Staff

門井 肇 ... 監督      吉村 昭 ... 原作  
小池和洋 ... 製作      佐向 大 ... 脚本



©2007「休暇」製作委員会

### 石塚伸一氏 プロフィール

龍谷大学法科大学院教授(刑事法)。  
龍谷大学矯正・保護研究センター副センター長。弁護士。  
本年1月29日に執行された牧野 正氏の弁護人を務めた。